

■懐良親王 後醍醐天皇の皇子。征西将軍官として、南朝方の九州支配を主導した。

かねよし(なが)しんのう

・・・・・・1330= この前後の生れと推定さる。父は後醍醐天皇。母は中納言御子左為道女三位局。中務卿。

鎌倉幕府滅亡1333= 3歳：

南北朝分裂・1336= 6歳：\_後醍醐天皇から九州の南朝勢力を糾合し上洛すべき命を受け征西将軍に任じられる。五条頼元・中院義定以下12人の廷臣に守られ鎮西に下向。

途次、伊予忽那島に数年滞在、

後醍醐天皇没1339= 9歳：

・・・・・・1340=10歳：豊後に至り、

五山制定・・1342=12歳：薩摩に着き谷山城に入った。当初から肥後の菊池・阿蘇両氏の軍事力を頼る企てであったが、

・・・・・・1348=18歳：**\*ようやく菊池の本拠である宇都津入りした。**

足利義詮入京1349=19歳：足利直冬が備後から肥後に逃れ、大宰府の少貳氏がこれに呼応して中央政局における尊氏・直義の対立が九州に波及すると、\_北朝方の分裂に乗じて勢力を伸ばし、

九州探題一色範氏と結んで筑後に進出し、ついで直冬が南朝に降ると少貳氏と結んで一色氏を攻撃。

観応の擾乱終1352=22歳：

・・・・・・1355=25歳：一色範氏・直氏らを長門に追い博多に入った。

・・・・・・1357=**27歳**：

・・・・・・1359=29歳：少貳頼尚を大保原に破り、

・・・・・・1361=31歳：**\*大宰府を掌握。**

\_以後、ここを南朝の拠点に北九州を制圧、

・・・・・・1366=**36歳**：

足利義満将軍1368=38歳：

・・・・・・1369=39歳：甥の良成親王を伊予の高野通直のもとに遣わして四国・瀬戸内海の鎮撫を企図した。また同年と、

了俊九州探題1370=40歳：建国直後の明の使者を博多に引見している。

・・・・・・1371=41歳：しかし、\_幕府から鎮西探題に任命された今川貞世(了俊)が子息義範を豊後高崎城に配し、弟仲秋を肥前松浦党に派遣するなど積極的に九州経略を遂行したため、

応安新式・・1372=42歳：**\*大宰府が陥落、高良山に陣するうち、**  
この間、\_菊池武光・同武政が没するなど、南朝は中心勢力を失い、ほどなく肥後の菊池に撤退のやむなきに至った。

・・・・・・1375=**45歳**：**\*征西将軍職を良成親王に譲り、**

義満親政始・1379=49歳：

義満准三后・1383=53歳：\_隠居の地筑後矢部で、没した。

明治11年、宮内省が肥後八代郡宮地村を墓地と認定し、同13年には懐良親王を祭る八代宮が創建された。